

4 事業別進捗状況

(1) 基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

1-（1）子どもと親の健康の確保・増進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	母子保健地域組織育成事業	継続		A	保健推進員に対して、乳幼児の事故防止の研修を実施。	H23 保健推進員ブロック会議3回 85人 H24 保健推進員ブロック会議3回 90人	H22 C — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保健推進員に対して、市の母子保健事業や乳幼児の事故防止の情報提供をしていく。	健康づくり支援課		
2	事故防止対策	継続	事故防止対策を実施している家庭の割合 100%	A	4か月児健診の会場で事故防止の周知とパンフレットの配付の他、公民館での子育てサロン等で事故防止に関する出前講座、広報等に事故防止の啓発記事の掲載等により、事故防止の周知を図った。	4か月健診受診児数 H22:2,590人 H23:2,961人 H24:2,708人 出前講座 H22:7回 406人 H23:2回 48人 H24:5回 50人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	健診・育児教室等で事故防止対策に関する啓発活動を行う。	健康づくり支援課		
3	乳幼児健診	拡充	受診率(医療機関での受診率を含む) 100%	A	4か月、1歳6か月、3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達面の健診を行った。 ・4か月児健診(48回) 受診者数2,708人 受診率94.2% ・1歳6か月児健診(48回) 受診者数2,845人 受診率92.9% ・3歳児健診(48回) 受診者数2,745人 受診率89.0%	4か月児健診受診率 H22:95.4% H23:95.2% H24:94.2% 1歳6か月児健診受診率 H22:92.63% H23:96.3% H24:92.9% 3歳児健診受診率 H22:88.3% H23:89.8% H24:89.0%	H22 A 25,448 25,306 H23 A 25,676 25,316 H24 A 27,848 25,400 H25 27,848 H26 — — 計 106,820 76,022	4か月、1歳6か月、3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達面の健診を行う	健康づくり支援課		
4	乳幼児相談	拡充		A	保健センター及び南文化会館において乳幼児を対象とした相談を実施した。	H22:31回 1,895人 H23:30回 1,599人 H24:30回 1,595人	H22 A 800 779 H23 A 836 833 H24 A 836 833 H25 836 H26 — — 計 3,308 2,445	保健センター及び南文化会館において乳幼児を対象とした相談を実施する。	健康づくり支援課		
5	電話による健康相談	継続		A	子どもと母の健康に関する専用ダイヤル「もしも健康相談」で相談を実施した。(保健師、栄養士、歯科衛生士が対応)。また、不妊・更年期等の女性相談に産師等が対応した。	もしも電話相談 H22:881件 H23:551件 H24:461件 女性相談 H22:96件 H23:53件 H24:67件	H22 A 672 651 H23 A 672 672 H24 A 700 679 H25 700 H26 — — 計 2,744 2,002	もしも相談、女性相談を実施する。	健康づくり支援課		

6	2歳児親子歯科健診	継続		A	2歳から2歳6か月児とその保護者を対象に歯科健診・歯科指導を実施した。	H22:12回 児337人 保護者264人 H23:12回 児363人 保護者274人 H24:12回 児312人 保護者244人	H22 A 1,545 1,495 H23 A 1,545 1,495 H24 A 1,545 1,495 H25 1,545 H26 計 6,180 4,485	2歳から2歳6か月児とその保護者を対象に歯科健診・歯科指導を実施する。	健康づくり支援課
7	幼児のむし歯予防推進事業	拡充		A	市立保育園の4～5歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施し、啓発事業として①研修会、②リーフレット・絵本・紙芝居を作成し、配布した。更に、「幼児のむし歯予防推進事業」を企画、立案、評価、検討等を行うため、委員会を実施した。また、事業内容をより充実させるため、検討会を実施した。	会議・研修・関係機関との調整 H22 10回 H23 10回 H24 10回 保健指導 H22 100回 H23 100回 H24 100回 フッ化物洗口実施児童数 H22 791人 H23 833人 H24 810人	H22 A 3,264 3,263 H23 A 3,267 3,267 H24 A 3,267 3,280 H25 3,188 H26 計 12,986 9,810	市立保育園の5歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施。啓発事業として、研修会、リーフレット、絵本、紙芝居を配布。委員会等の実施と併せ、フッ化物洗口事業の対象者を拡大し、新たな事業として展開する準備を進める。	健康づくり支援課
8	乳幼児の予防接種	拡充	6か月までのBCG接種率95% 1歳6か月までの三種混合、麻しん予防接種率95%	A	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等による予防接種の接種勧奨の他、麻しん風しん混合Ⅱ期Ⅲ期Ⅳ期未接種者に対して個別通知による接種勧奨を行った。11月から三種混合プラス不活化ポリオの四種混合ワクチンが導入された。そのため三種混合の接種率は低下したが、四種混合接種者数を加えると、接種率は上がる。	【接種者】 BCG H22:2,925人 100.48% H23:2,717人 89.6% H24:2,703人 88.88% 三種混合 H22:12,096人 103.84% H23:12,312人 104.2% H24:10,521人 93.07% 麻しん風疹1期 H22:2,834人 97.19% H23:2,916人 96.2% H24:2,952人 97.07% 麻しん風疹2期 H22:2,835人 95.19% H23:2,730人 94.6% H24:2,933人 97.21% 麻しん風疹3期 H22:2,789人 89.16% H23:2,797人 88.5% H24:2,852人 92.53% 麻しん風疹4期 H22:2,438人 73.63% H23:2,486人 76.0% H24:2,101人 62.51% (接種対象者数については、標準的な接種年齢で積算)	H22 A 233,870 233,535 H23 A 233,586 233,586 H24 A 231,570 219,256 H25 107,975 H26 計 807,001 686,377	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等による予防接種の接種勧奨の他、麻しん風しん混合Ⅱ期未接種者に対して個別通知による接種勧奨を継続して行う。	健康づくり支援課
9	産婦・新生児訪問指導	拡充	訪問率(こんにちは赤ちゃん事業を含む)100%	A	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師、保健師による訪問を実施した。こんにちは赤ちゃん訪問を実施した。	H22:2,395件訪問 82.6% H23:2,429件訪問 84.7% H24:2,367件訪問 80.5%	H22 A 11,111 9,758 H23 A 10,821 10,000 H24 A 10,821 10,023 H25 10,821 H26 計 43,574 29,781	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師、保健師による訪問を実施する。	健康づくり支援課

10	乳幼児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な母子に対して、保健師等による訪問指導を実施した。	H22:妊産婦 112件 乳幼児217件 H23:妊産婦 155件 乳幼児284件 H24:妊産婦 154件 乳幼児278件	H22 A 60 60 H23 A 60 60 H24 A 60 60 H25 60 H26 計 240 180	訪問による指導が必要な母子に対して、保健師等による訪問指導を実施する。	健康づくり支援課
11	不妊に対する支援	継続	A	特定不妊治療を受ける夫婦を対象にその治療に要する費用の一部を助成した。 不妊専門相談センターにおいて専門相談を実施した。	特定不妊治療助成件数 H22:285件 H23:320件 H24:451件 相談件数 H22:13組 H23:14組 H24:21組	H22 A 40,033 40,033 H23 A 52,230 45,156 H24 A 63,395 63,395 H25 61,500 H26 計 217,158 148,584	特定不妊治療を受ける夫婦を対象にその治療に要する費用の一部を助成する。 不妊専門相談センターにおいて専門相談を実施する。	健康づくり支援課
12	妊婦健康診査	拡充	A	妊婦に対し委託医療機関で健康診査を行った。 委託医療機関での検診が受けられない妊婦を対象に健診費用の一部を助成した。	H22:一般健診14回 延35,529人 H23:一般健診14回 延34,148人 H24:一般健診14回 延36,512人	H22 A 262,594 245,030 H23 A 283,081 250,111 H24 A 269,748 269,748 H25 256,395 H26 計 1,071,818 764,889	妊婦に対し委託医療機関で健康診査を行う。	健康づくり支援課
13	両親学級	拡充	A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパパママスクール H22:5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23:6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24:6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22 A 25 16 H23 A 19 19 H24 A 19 19 H25 19 H26 計 82 54	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。	健康づくり支援課
14	マタニティクッキング	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的に調理実習、講話を行った。	H22:5回 40人 H23:6回 60人 H24:6回 61人	H22 A 37 37 H23 A 37 37 H24 A 37 37 H25 37 H26 計 148 111	妊娠5か月以上の妊婦を対象に妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的に調理実習、講話を行う。	健康づくり支援課
15	妊婦歯科健診	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に歯科健診と歯みがき指導を実施した。	妊婦歯科健診 H22:12回 113人 H23:12回 127人 H24:12回 122人	H22 A 650 608 H23 A 650 600 H24 A 650 600 H25 650 H26 計 2,600 1,808	妊娠5か月以上の妊婦を対象に歯科健診と歯みがき指導を実施する。 H25より産後1年未満の産婦も対象とし、受診できる対象の枠を広げた。	健康づくり支援課
16	母子栄養食品の支給	継続	E	低所得者の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行う。	粉ミルクの支給 H22:妊婦3人 乳幼児14人 H23:乳児3人	H22 A 234 204 H23 A 260 59 H24 E - - H25 - H26 計 494 263	社会情勢、他市の状況等を考慮し、23年度より新規受け付けを中止した。 引き続き、両親学級、リーフレットの配付等で栄養指導を実施する。	健康づくり支援課

17	離乳食教室	継続	A	月齢に応じた離乳食の進め方について教室を開催し、離乳食の講話と試食を行った。 4～6か月対象、6～8か月対象	4～6か月対象 H22:12回 308組 H23:12回 308組 H24:12回 316組 6～8か月対象 H22:12回 272組 H23:12回 242組 H24:12回 238組	H22 A 150 150 H23 A 150 150 H24 A 150 150 H25 150 H26 計 600 450	月齢に応じた離乳食の進め方について教室を開催し、離乳食の講話と試食を行う。	健康づくり支援課
18	おやつと歯みがき教室	継続	A	2歳6か月～4歳未満の児とその保護者を対象におやつづくりの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図った。また、口腔内の手入れの仕方について指導を行った。	H22:12回 155組 H23:12回 114組 H24:12回 140組	H22 A 83 83 H23 A 75 75 H24 A 75 75 H25 75 H26 計 308 233	2歳6か月～4歳未満の児とその保護者を対象におやつづくりの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図った。また、口腔内の手入れの仕方について指導を行う。	健康づくり支援課
19	育児関連講座等への協力	拡充	A	公民館、育児サークル等からの依頼により保健師、栄養士、歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容の講義、実習等を実施した。	出前講座開催回数 H22:7回 406人 H23:3回 63人 H24:5回 201人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - H26 計 0 0	公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により保健師、栄養士、歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容の講義、実習等を実施する。	健康づくり支援課
20	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施した。	未熟児等訪問指導 H22:73件 H23:98件 H24:85件	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - H26 計 0 0	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施する。	健康づくり支援課
21	小さく生まれた子どもを持つ親の会	継続	A	ひよこサロン(小さく生まれた子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として、育児不安の軽減を図った。	ひよこサロン H22:11回 延223人 H23:12回 延169人 H24:12回 延142人	H22 A 53 53 H23 A 50 50 H24 A 50 50 H25 50 H26 計 203 153	ひよこサロンを開催し、親同士の交流の場として、育児不安の軽減を図る。	健康づくり支援課
22	ダウン症のある子どもを持つ親の会	継続	A	いもっこの会(ダウン症のある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施した。	いもっこの会 H22:9回 延94人 H23:11回 延88人 H24:11回 延96人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - H26 計 0 0	いもっこの会を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施する。	健康づくり支援課
23	食物アレルギーのある子どもを持つ親の会	継続	A	ポッポサークル(食物アレルギーのある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の情報交換と仲間づくりを支援した。	ポッポサークル H22:12回 延72人 H23:7回 延35人 H24:6回 延69人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - H26 計 0 0	ポッポサークルを開催し、親同士の情報交換と仲間づくりを支援する。	健康づくり支援課

24	すくすくクリニック	継続		A	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援した。	すくすくクリニック H22: 12回 延65人 H23: 11回 延40人 H24: 10回 延59人	H22 A 396 396 H23 A 396 363 H24 A 396 330 H25 396 H26 計 1,584 1,089	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援する。	健康づくり支援課
25	発育・発達クリニック	拡充		A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。平成24年度から子どもの心の健康相談と統合した。	発育発達クリニック H22: 11回 延71人 H23: 11回 延71人 H24: 23回 延117人	H22 A 960 880 H23 A 960 880 H24 A 1,920 1,840 H25 1,920 H26 計 5,760 3,600	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に診察・相談を行い、発育発達を支援する。	健康づくり支援課
26	子どものこころの健康相談	拡充		E	平成24年度より発育発達クリニックと統合した。こころの健康相談対象者は発育発達クリニックにて支援した。	子どものこころの健康相談 H22: 11回 56人 H23: 11回 48人	H22 A 960 880 H23 A 960 880 H24 E - - H25 - H26 計 1,920 1,760	平成24年度より、発育発達クリニックと統合し、クリニックにおいて支援していく。	健康づくり支援課
27	多胎児をもつ親の会	継続		A	ハッピーエンジェル(多胎児をもつ親の会)を開催し、育児不安の解消を図った。	ハッピーエンジェル H22: 12回 延375人 H23: 12回 延175人 H24: 12回 延244人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 - H26 計 0 0	ハッピーエンジェル(多胎児をもつ親の会)を開催し、育児不安の解消を図る。	健康づくり支援課
28	こども医療費の助成	拡充		A	こどもが必要とする医療を簡便に受けられるようにし、こどもの健康の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 支給件数 531,467件 支給額 895,236,811円	支給件数 H17 282,228件 H18 293,053件 H19 292,897件 H20 301,391件 H21 290,709件 H22 374,630件 H23 448,135件 H24 531,467件	H22 A 691,919 661,845 H23 A 830,618 793,328 H24 A 1,011,797 952,285 H25 1,082,700 H26 計 3,617,034 2,407,458	こどもが必要とする医療を簡便に受けられるようにし、こどもの健康の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給する。なお、平成24年10月診療分より通院助成を小学校3年生(9歳年度末)から小学校6年生(12歳年度末)までに拡大を実施した。	こども政策課 (H24年度までは医療助成課)
29	赤ちゃん広場	新規		A	育児サークルの支援として、育児学習・情報交換の場の提供した。	赤ちゃん広場 H22: 10回 延496人 H23: 10回 延409人 H24: 10回 延429人	H22 A 30 30 H23 A 30 30 H24 A 30 30 H25 30 H26 計 120 90	育児サークルの支援として、育児学習・情報交換の場の提供する。	健康づくり支援課
30	母子健康手帳の交付	新規		A	市役所や各出張所にて、届出により妊婦に対して母子健康手帳を交付した。	妊娠届出数 H22: 2,961件 H23: 2,905件 H24: 3,165件 母子健康手帳交付数 H22: 3,034件 H23: 2,984件 H24: 3,256件	H22 A 328 282 H23 A 400 394 H24 A 419 419 H25 400 H26 計 1,547 1,095	市役所や各出張所にて、届出により妊婦に対して母子健康手帳を交付する。	健康づくり支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

1-(2)「食育」の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課									
							年度	進捗状況	予算額	決算額											
1	保育園等における食育の推進	拡充			A	市立保育園において、健全な成長発達を目指し、食事の楽しさや大切さ、衛生習慣について栄養教育を行った。 公立保育園20園 各6回	毎年 公立保育園20園 各6回	H22	A	—	—	毎年実施している内容については継続。 保育所保育指針の保育内容に合わせた食育年間計画を作成し、計画的に食育を推進していく。	保育課								
					H23	A	—	—	H24	A	—			—	H25	—	—	H26	—	—	計
					A	「保育園職員研修会」において朝食のチラシを配布した。また、市内小学校5校の就学前健診に出向き、朝食の大切さを周知した。	H22「食育講演会」1回 「幼児のむし歯予防推進事業研修会」1回 H23「食育講演会」1回 「幼児のむし歯予防推進事業研修会」1回 H24 朝食のチラシ配布数1402枚	H22	B	40	40	市内小学校33校の就学前健診において、朝食のチラシの配布を実施する予定。	健康づくり支援課								
							H23	B	40	40	H24			A	40	0	H25	0	H26	—	計
2	小・中学校における食育の推進	継続			A	学校における食育推進のため、食に関する全体計画を作成した。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求めた。	H22 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H23 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H24 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部	H22	A	325	—	学校における食育推進のため、食に関する全体計画の見直しを行う。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求める。学校ファームの活動との関連を図るようにする。	教育指導課								
					H23	A	325	290	H24	A	250			277	H25	250	H26	—	計	1,150	567
					A	小中学校への食に関する指導 小学校2年生2,909人 187回 各種広報誌の発行 6回	H22 小学校2年生3,000人 193回 H23 小学校2年生2,877人 186回 H24 小学校2年生2,909人 187回 毎年各種広報誌発行6回	H22	A	—	—	定着した食指導を引き続き継続していくとともに、他学年への拡大を検討していく。	学校給食課								
							H23	A	—	—	H24			A	—	—	H25	—	H26	—	計
					A	栄養教諭・学校栄養職員と合同の「食育」推進のための指導法研修会を実施し、望ましい食生活や栄養などに関する情報及び効果的な指導方法について各教職員に周知した。また、栄養教諭による、実践事例発表を行い、実際の指導場面の発表を行った。	H23 食に関する指導法研修会 小学校教諭 27名 中学校教諭 21名 栄養教諭、栄養職員 9名 学校給食課、給食センター5名 H24 食に関する指導法研修会 小学校教諭 31名 中学校教諭 20名 特別支援 1名 栄養教諭、栄養職員 10名 学校給食課、給食センター7名	H22	A	—	—	学校における食育推進のため、関係大学から講師を招き、「心と体を育む食育の重要性」「学校での食育の推進」について研修を行っていく。また、川越総合卸売市場を研修会場として、施設見学を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)								
							H23	A	25	25	H24			A	25	15	H25	25	H26	—	計

3	地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	学校給食への川越産野菜使用割合 20.0% (平成30年度)	A	<p>地場産農産物の学校給食への利用 19.6%</p> <p>地場産物を利用した料理教室の開催</p> <p>地場産物に関する食育資料提供</p> <p>夏休み料理教室の開催</p> <p>食育用パネル作成</p>	<p>料理教室開催 毎年2回</p> <p>毎年地場産物に関するパネル、パワーポイント作成</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H22	B	—	—	H23	A	—	—	H24	A	—	—	H25		—	—	H26				計		0	0	<p>地場産物をPRLしていくとともに供給ルートの検討をしていく。</p>	学校給食課
				H22	B	—	—																										
				H23	A	—	—																										
H24	A	—	—																														
H25		—	—																														
H26																																	
計		0	0																														
A	<p>・地場産物の学校給食への利用推進</p> <p>・学校給食への安定納入に要する経費への助成</p>	<p>H23 巨峰 950kg</p> <p>直売価格と給食納入価格差補填 95,000円</p> <p>納品のために要する経費 53,926円</p> <p>H24 巨峰797kg</p> <p>直売価格と給食納入価格差補填 119,550円</p> <p>納品のために要する経費 46,990円</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>150</td><td>147</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>150</td><td>148</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>200</td><td>167</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>200</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>700</td><td>462</td></tr> </table>	H22	A	150	147	H23	A	150	148	H24	A	200	167	H25		200		H26				計		700	462	<p>24年度同様、引き続き支援していく。</p>	農政課				
H22	A	150	147																														
H23	A	150	148																														
H24	A	200	167																														
H25		200																															
H26																																	
計		700	462																														
A	<p>地場産物を保育園給食に取り入れるため、給食材料納入業者に対し、積極的に納入するよう働きかけた。米については、川越産又は埼玉県産が納入されるようになった。</p>		<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H22	B	—	—	H23	A	—	—	H24	A	—	—	H25		—	—	H26				計		0	0	<p>給食材料納入業者に今後も働きかけていく。</p> <p>川越産農産物並びに埼玉県産食材料の出回り期においては、その食材料を積極的に献立に取り入れていく。</p>	保育課				
H22	B	—	—																														
H23	A	—	—																														
H24	A	—	—																														
H25		—	—																														
H26																																	
計		0	0																														
4	情報発信活動	拡充		A	<p>食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエブロンシアター等を実施し情報を発信した。</p> <p>また、歯科医師会、地域活動栄養士の会、歯科衛生士会と共同で作成した食育やむし歯予防をはじめ幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本を配布した。</p>	<p>食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会</p> <p>歯ッピーフェスティバル、健康まつりに参加協力。</p> <p>絵本と紙芝居</p> <p>H22 絵本 2,700冊配布</p> <p>紙芝居 56冊配布</p> <p>H23 絵本 2,700冊配布</p> <p>紙芝居 4冊配布</p> <p>H24 絵本 2,700冊配布</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>126</td><td>125</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>126</td><td>125</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>129</td><td>142</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>50</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>431</td><td>392</td></tr> </table>	H22	A	126	125	H23	A	126	125	H24	A	129	142	H25		50		H26				計		431	392	<p>食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエブロンシアター等を実施し情報を発信する。</p> <p>また、歯科医師会、地域活動栄養士の会、歯科衛生士会と共同で作成した食育やむし歯予防をはじめ幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本を継続して配布する。</p>	健康づくり支援課
H22	A	126	125																														
H23	A	126	125																														
H24	A	129	142																														
H25		50																															
H26																																	
計		431	392																														
5	乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充		A	<p>1歳6か月健診や乳幼児相談の際に栄養士による個別相談を実施し、食に関する不安の解消、望ましい食生活への支援を行った。</p>	<p>栄養相談</p> <p>H23 1歳6か月児健診 246件</p> <p>乳幼児相談 267件</p> <p>H24: 1歳6か月児健診 259件</p> <p>乳幼児相談 251件</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H22	A	—	—	H23	A	—	—	H24	A	—	—	H25		—	—	H26				計		0	0	<p>1歳6か月健診や乳幼児相談の際に栄養士による個別相談を実施し、食に関する不安の解消、望ましい食生活への支援を行う。</p>	健康づくり支援課
H22	A	—	—																														
H23	A	—	—																														
H24	A	—	—																														
H25		—	—																														
H26																																	
計		0	0																														

6	食生活改善推進員協議会の活動支援	継続		A	親子料理教室などをはじめとする調理実習等の事業を実施。健康まつり、歯ッピーフェスティバルなどのイベントにて食育を啓発した。また、会員は、食育等研修を受講し資質の向上に努めた。	H22、H23 親子料理教室の実施 1回/年 歯ッピーフェスティバル 1回/年 健康まつりに参加協力 1回/年 食育に関する研修 随時 H24 親子料理教室の実施 3回/年 歯ッピーフェスティバル 1回/年 健康まつりに参加協力 1回/年 食育に関する研修 随時	H22 A 45 45 H23 A 45 45 H24 A 45 45 H25 45 H26 計 180 135	親子料理教室などをはじめとする調理実習等の事業を実施予定。健康まつり、歯ッピーフェスティバルなどのイベントにて食育をはじめとする食生活に関わる啓発を予定。また、会員は、食育等研修を受講し資質の向上を図る。	健康づくり支援課
7	地域活動栄養士会との協働	拡充		A	地域活動栄養士の会と共催し、親子に対し食育の推進を図った。	たのしい食育 H22:4回 109人 H23:4回 100人 H24:4回 137人	H22 A 28 28 H23 A 28 28 H24 A 28 28 H25 28 H26 計 112 84	地域活動栄養士の会と共催し、食育の推進を図る。	健康づくり支援課
8	妊娠期・離乳期・幼児期を対象とした食に関する事業における食育の推進	拡充		A	妊娠期から幼児期まで、ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通した健康づくりの支援を行った。	各事業の実施状況参照	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	妊娠期から幼児期まで、ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通した健康づくりの支援を行う。	健康づくり支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

1-(3) 思春期保健対策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方角性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	薬物乱用防止啓発	継続			A	・保健所窓口やイベント会場(健康まつり会場、夏まつり会場)において、リーフレット等を配布し啓発を行った。 ・健康まつりにキャラバンカーの招致を行った。 ・県と連携し、青少年キャンペーン(参加会場:坂戸駅)に参画する等、薬物乱用防止啓発活動を行った。 ・庁舎電子表示盤等により啓発の広報を行った。		H22 A 92 92 H23 A 69 69 H24 A 72 71 H25 68 H26 計 301 232	引き続き啓発活動に努める。	保健総務課		
					A	市立小中・高等学校で薬物乱用防止教室を開催。その他、様々な機会を通して児童生徒へ啓発を行った。	市立小・中・高校全校で実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	全市立小中・高等学校で薬物乱用防止教室を開催するなど、教育活動を工夫していく。	教育指導課		

2	思春期保健相談	継続	思春期保健講座 (4クール/年)	A	思春期保健講座 1講座開催 (当初、目標を全4回としていたが、参加者の意向により実施回数を見直し全1回とした)	H22 参加者88名 H23 参加者123名 H24 参加者108名	H22 A 205 92 H23 A 139 98 H24 A 129 33 H25 78 H26 計 551 223	性に関する正しい知識や情報を習得する場として充実させていく。	保健予防課
				A	随時、電話等で思春期の保健相談を実施したが、相談件数はあがらなかった。	相談件数 H22:4件 H23:2件 H24:0件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	随時、電話等で思春期の保健相談を実施する。引き続き事業の周知を行う。	健康づくり支援課
3	子育て体験学習	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22:市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23:市内中学校12校で実施 H24:市内中学校9校で実施	H22 A 54 54 H23 A 350 350 H24 A 350 350 H25 350 H26 計 1,104 754	市民活動団体との協働委託事業として中学校約10校で実施予定。	こども育成課 (H24年度まで: 子育て支援課、青少年課)
				A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	社会体験学習及び交流活動を行うことで、保育園での子どもたちの様子や保育園での職業体験を通し、豊かな心身の育成を図る。	保育課
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力を行った。	チラシの配付	H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	子育て支援課が主体となって行う事業について、事業実施状況を見ながら協力していく。	健康づくり支援課
				A	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22 B — — H23 B — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討していく。	中央公民館
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	子育て支援課が主体となって行う事業について、学校との調整等を行う。	教育指導課

4	思春期健康教育	拡充	出前講座 (10回/年)	A	中学・高校・大学への出前講座 年10回実施	平成22年度 参加者229名 平成23年度 参加者818名 平成24年度 参加者2239名	H22 A 330 33 H23 A 132 165 H24 A 264 330 H25 396 H26 計 1,122 528	依頼に対応し、出前講座の機会を充実させていく。	保健予防課
				A	依頼により健康教育を実施した。	H22: 1回 16人 H23: 1回 15人 H24: 1回 15人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	依頼により健康教育を実施していく。	健康づくり支援課
5	飲酒・喫煙防止対策	継続	未成年の飲酒・喫煙率 0%	A	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成、保健推進員協議会等団体の協力によりラジオ体操や夏祭りなどイベントにて啓発活動を実施した。 「広報川越」に喫煙防止の記事を掲載。 保健推進員の研修において、川越みんなの健康プランにおける「タバコ」の研修を実施した。	H23【研修会】 保健推進員 3回 食生活改善推進員協議会 1回 健康づくりボランティアやまぶき21 1回 H24【研修会】 保健推進員 3回	H22 A 26 26 H23 A 17 17 H24 A 17 10 H25 10 H26 計 70 53	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成し、啓発予定。 保健推進員等は、「喫煙防止対策」について研修を実施。	健康づくり支援課
6	性感染症対策	拡充	性感染症検査、相談及び即日検査 (月3回)	A	性感染症検査・相談 月2回(年24回) 即日検査 年12回 計 年36回実施	H22 受検者474名 H23 受検者527名 H24 受検者384名	H22 A 401 281 H23 A 531 327 H24 A 486 410 H25 430 H26 計 1,848 1,018	感染の早期発見のため、検査体制の強化や予防啓発を充実させていく。	保健予防課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

1-(4) 小児医療の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	小児救急医療対策事業	継続		A	川越地区救急医療圏と比企地区救急医療圏の複数にわたり事業を実施する必要があるため、平成17年度より埼玉県が「小児救急医療拠点病院運営事業」として該当医療機関に補助金を交付している。	小児二次救急医療機関数 H23 川越地区:1 比企地区:0 H24 川越地区:1 比企地区:0	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	引き続き埼玉県が事業主体となり実施していく予定である。 なお、比企地区の医療機関の整備状況によっては、特定年度から事業主体が川越市に変更となる可能性がある。	保健医療推進課			
2	休日急患・小児夜間診療事業	継続		A	診療日数365日 患者数 7,777人(うち小児科4,816人)	患者数 H23:5,377人(うち小児科3,864人) H24:7,777人(うち小児科4,816人) ※H23年度までは市立診療所で実施していたが、H24年度からは川越市医師会夜間休日診療所で実施	H22 A 46,206 44,646 H23 A 46,304 44,622 H24 A 37,500 37,500 H25 H26 計 130,010 126,768	川越市医師会夜間休日診療所において、休日及び夜間に軽症の救急患者の診療を実施する事業に対し、必要な補助を行う。	保健医療推進課 (診療所)			

3	未熟児養育医療給付	継続	A	養育のため指定養育医療機関に入院加療が必要な未熟児等に対して、その養育に必要な医療給付を行った。	受給者 H22:100人 H23:111人 H24:99人	H22 A 29,150 29,150 H23 A 26,312 25,459 H24 A 31,106 27,707 H25 31,106 H26 計 117,674 82,316	養育のため指定養育医療機関に入院加療が必要な未熟児等に対して、その養育に必要な医療給付を行う。	健康づくり支援課
4	自立支援医療(育成医療)給付	継続	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:115人 H23:108人 H24:113人	H22 A 7,380 7,380 H23 A 10,150 9,213 H24 A 10,151 7,071 H25 10,131 H26 計 37,812 23,664	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行う。	健康づくり支援課
5	結核児童療育給付	継続	A	結核児童に対してその児童の心身両面にわたる健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療等の給付をする。	受給者 H22: 0人 H23: 0人 H24: 0人	H22 A 127 — H23 A 127 — H24 A 127 — H25 127 H26 計 508 0	結核児童に対してその児童の心身両面にわたる健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療等の給付を行う。	健康づくり支援課
6	小児慢性特定疾患医療給付	継続	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:255人 H23:263人 H24:267人	H22 A 50,687 47,266 H23 A 52,929 46,923 H24 A 53,891 51,209 H25 53,891 H26 計 211,398 145,398	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	健康づくり支援課

(2)基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

2-(1) 次代の親の育成

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	男女平等教育研修会	継続		A	川越市における男女共同基本計画の周知を各教職員に図ると共に、男女平等意識を高める学校での実践についての研修を推進した。「男女平等教育研修会」を実施し、全校の人権教育担当者等に男女共同参画の視点に立った教育の推進についての研修を行った。	研修会参加者数 H22 55名 H23 50名 H24 55名	H22 A 10 5 H23 A 8 0 H24 A 5 0 H25 5 H26 計 28 5	「男女平等教育研修会」を実施する。各学校・園において、男女平等の重要性や人権尊重、男女の相互理解と協力等、男女共同参画の視点に立った教育を進める。	教育指導課			
					市内各学校の全教職員に川越市における男女共同参画基本計画の周知と、子どもたちの男女平等意識を高める学校での取組について研修を行った。	研修会参加者数 H22 55名 H23 50名 H24 55名	H22 A 10 5 H23 A 8 0 H24 A 5 0 H25 5 H26 計 28 5	男女共同参画社会の実現を目指し、「男女平等教育研修会」を企画・実施する。研修会では、講義「男女共同参画社会の目指すもの」、報告「学校における男女平等意識を高めるための実践」を行う。				
2	中学生社会体験事業	拡充	実施率 100%	A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議をもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数値が昨年度よりも増えている。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所のべ828事業所 H24 ・参加生徒数 2,777名 ・協力事業所のべ798事業所	H22 A 1,398 1,398 H23 A 1,398 1,375 H24 A 1,398 1,362 H25 1,398 H26 計 5,592 4,135	今年度は昨年度以上に事業所の確保を行い、生徒の主体的、意欲的な活動につなげていきたい。これからの自分の進路選択に向けた行うべき点に気づける取り組みにする。	教育指導課			

3	子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22: 市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23: 市内中学校12校で実施 H24: 市内中学校9校で実施	H22	A	再掲	再掲	市民活動団体との協働委託事業として中学校約10校で実施予定。	こども育成課 (H24年度まで: 子育て支援課、青少年課)			
			A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22	A	再掲	再掲	社会体験学習及び交流活動をすることで、保育園での子どもたちの様子や保育園での職業体験を通し、豊かな心身の育成を図る。	保育課				
			A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力した。	チラシ配布	H22	B	再掲	再掲	子育て支援課が主体となって行う事業について、事業実施状況を見ながら協力していく。	健康づくり支援課				
			A	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22	B	再掲	再掲	中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討していく。	中央公民館				
			A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22	B	再掲	再掲	子ども育成課が主体となって行う事業について、学校との調整等を行う。	教育指導課				

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

2-2(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	小・中学校における食育の推進 (1-(2)-2の再掲)	継続		A	学校における食育推進のため、食に関する全体計画を作成した。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求めた。	H22 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H23 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H24 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	学校における食育推進のため、食に関する全体計画の見直しを行う。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求める。学校ファームの活動との関連を図るようにする。	教育指導課			
					小中学校への食に関する指導 小学校2年生2,909人 187回 H24 小学校2年生2,909人 187回 各種広報誌の発行 6回	H22 小学校2年生3,000人 193回 H23 小学校2年生2,877人 186回 H24 小学校2年生2,909人 187回 毎年各種広報誌発行6回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	定着した食指導を引き続き継続していくとともに、他学年への拡大を検討していく。	学校給食課			
					栄養教諭・学校栄養職員と合同の「食育」推進のための指導法研修会を実施し、望ましい食生活や栄養などに関する情報及び効果的な指導方法について各教職員に周知した。また、栄養教諭による、実践事例発表を行い、実際の指導場面の発表を行った。	H23 食に関する指導法研修会 小学校教諭 27名 中学校教諭 21名 栄養教諭、栄養職員 9名 学校給食課、給食センター5名 H24 食に関する指導法研修会 小学校教諭 31名 中学校教諭 20名 特別支援 1名 栄養教諭、栄養職員 10名 学校給食課、給食センター7名	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	学校における食育推進のため、関係大学から講師を招き、「心と体を育む食育の重要性」「学校での食育の推進」について研修を行っていく。また、川越総合卸売市場を研修会場として、施設見学を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)			
2	子どもの情報提供事業	継続		A	かわごえし子ども情報誌「小江戸探検隊」を年2回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて配布。	H22 2回発行 計57,100部 H23 2回発行 計54,640部 H24 2回発行 計53,700部	H22 A 619 493 H23 A 469 452 H24 A 478 374 H25 391 H26 計 1,957 1,319	長期休業前に、児童生徒に情報誌を配付し、ひとりでも多くの子どもに実際に体験・見学してもらうことを目指す。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)			
3	臨床心理士配置事業	拡充		A	教育センター分室(リベラ)に1名配置し、学校やリベラにおける相談活動の指導、助言を行った。		H22 A 1,373 1,373 H23 A 1,373 1,464 H24 A 1,373 1,373 H25 1,386 H26 計 5,505 4,210	教育センター分室(リベラ)に1名配置し、学校やリベラにおける相談活動の指導、助言、及び各学校への派遣による訪問相談や教員の指導力の向上を図る研修を実施する。	教育センター (旧 教育研究所)			

4	さわやか相談員配置事業	継続	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校22校に22名配置	H22 中学校22校に22人配置 H23 中学校22校に22人配置	H22 A 26,851 26,072 H23 A 22,007 21,324 H24 A 21,428 19,751 H25 18,705 H26 計 88,991 67,147	中学校22校に1名ずつ、22名を配置し、生徒やその保護者からの相談に応じる。さらに、校種間連携をもとに、各中学校区毎に小学校での相談活動にも対応し、児童やその保護者からの相談にも応じる。また、埼玉県スクールカウンセラーや教育センター分室(リベラ)の教育相談と連携を図りながら、専門的な支援や、継続した相談が必要なケースに対応できるようにする。	教育センター (旧 教育研究所)
5	学校カウンセリング研修事業	継続	A	教職員や川越市さわやか相談員を対象に学校カウンセリングに関する研修を実施した。 学校カウンセリング中級研修会9回 162名 学校カウンセリング初級研修会3回 24名 学校教育相談コンサルテーション研修会2回 101名 特色あるさわやか相談室づくり研修会3回 66名	学校カウンセリング中級研修会 H22 9回 109名 H23 9回 110名 H24 9回 162名 学校カウンセリング初級研修会 H22 3回 21名 H23 3回 12名 H24 3回 24名 学校教育相談コンサルテーション研修会 H22 2回 96名 H23 2回 85名 H24 2回 101名 特色あるさわやか相談室づくり研修会 H22 3回 66名 H23 3回 66名 H24 3回 66名	H22 A 208 169 H23 A 208 163 H24 A 190 157 H25 190 H26 計 796 489	学校教育相談コンサルテーション研修会を通して各学校の教育相談主任の役割や校種間連携を進め、教育相談体制の充実を図るとともに、学校カウンセリング初級、中級研修会、さわやか相談員の研修会を通して、相談活動の質の向上を図る。	教育センター (旧 教育研究所)
6	適応指導教室	継続	A	教育センター分室(リベラ)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。		H22 A 37 25 H23 A 37 59 H24 A 69 61 H25 61 H26 計 204 145	学習支援や体験活動、人間関係づくりなどを通して、児童生徒一人一人のよりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための支援を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)
7	総合的な学習の時間の支援	継続	A	総合的な学習の時間について「特色ある学校づくり研修会」を実施した。小・中学校の代表が実践発表を行い、近隣の小中学校でグループ協議を持ち、情報交換を行うことができた。	特色ある学校づくり研修会 参加者 H22 53名 H23 50名 H24 55名	H22 A 20 20 H23 A 15 0 H24 A 10 0 H25 10 H26 計 55 20	新学習指導要領に対応し、各学校の特色を生かした活動事例の発表者を昨年度より多くし、特色ある活動を広め、情報交換の機会とする。グループ協議の中で、各学校の年間指導計画について情報交換を行ったり、小学校と中学校との連携活動や発達段階に応じた活動内容の確認したりする。	教育センター (旧 教育研究所)
8	川越市教職員研修事業	拡充	A	川越市立学校(小・中・高・特別支援学校)の教職員を対象とした研修会を実施した。研修回数や内容の工夫・改善、見直しを図り、コースによる選択制を拡大することで参加意欲を向上させるとともに参加しやすい体制を整えた。また、今日の教育課題に対応し、臨時研修を実施し、指導力の向上を図ることができた。	H22 104講座 延べ6,362名参加 H23 106講座 延べ7,243名参加 H24 110講座 延べ7,312名参加	H22 A 4,608 3,264 H23 A 3,858 3,672 H24 A 3,835 3,470 H25 3,497 H26 計 15,798 10,406	ライフステージに合った研修を重視し(経験者研修等)、教職経験年数に応じた指導力の向上を図る。奨励研修の見直しを図り、幅広い実践的指導力の向上を目指す。	教育センター (旧 教育研究所)

9	少人数学級、少人数指導の充実	拡充		A	中学校1学年で、1学級あたり概ね35人を超え、かつ県の少人数学級編制に該当しない学年に1学級増を行い、市費採用の臨時講師を配置した。 少人数学級のための臨時講師 7校(川越第一中、初雁中、東中、砂中、大東西中、川越西中、山田中)、7名	臨時講師配置校数 17年度…5校 18年度…8校 19年度…8校 20年度…10校 21年度…5校 22年度…6校 23年度…9校 24年度…7校	H22 A 25,037 21,521 H23 A 35,171 32,956 H24 A 32,121 26,569 H25 37,875 H26 計 130,204 81,046	25年度は、新たにオールマイティーチャー事業を実施し、学校における課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。	学校管理課
				A	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫・改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチーム・ティーチングによる、個に応じたよりきめ細かな指導を行った。	県費による指導方法工夫・改善加配教員配置 100%	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫・改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチーム・ティーチングによる、個に応じたよりきめ細かな指導をとおして、基礎学力の定着を図る。	教育指導課
10	教育副読本の整備	継続		A	新学習指導要領の全面実施に対応し、地域や児童の実態を考慮した小学校3・4年生の社会科の副読本を整備した。	小学校32校へ配布	H22 A 4,710 4,002 H23 A 4,820 3,876 H24 A 4,688 3,806 H25 4,708 H26 計 18,926 11,684	統計資料や写真資料等の見直し、差しかえ等を行い、よりよい副読本の整備を行っていく。	教育指導課
11	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	拡充	実施率100%	A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議のもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数が昨年度よりも増えている。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所 のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所 のべ828事業所 H24 ・参加生徒数 2,777名 ・協力事業所 のべ798事業所	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	今年度は昨年度以上に事業所の確保を行い、生徒の主体的、意欲的な活動につなげていきたい。これからの自分の進路選択に向けた行すべき点に気づける取り組みにする。	教育指導課
12	国際理解教育	継続		A	小学校外国語活動及び中学校英語科の授業を効果的に推進するため、指導力の向上を目指した研修会を実施した。 国際理解教育の推進・充実を図る研修会を実施した。	国際理解教育研修会年(小・中学校) H22 年4回 延べ173名参加 H23 年3回 延べ116名参加 H24 年3回 延べ109名参加 小学校英語活動指導者研修会 H22 年4回 延べ120名参加 H23 年2回 延べ 72名参加 H24 年2回 延べ 65名参加 英語科授業づくり研修会(中学校) H22 年3回 11名参加 H23 年2回 38名参加 H24 年2回 48名参加 AETと楽しむ英会話研修会(小・中) H22 年1回 14名参加 H23 年1回 11名参加 H24 年1回 14名参加	H22 A 50 40 H23 A 50 25 H24 A 35 38 H25 35 H26 計 170 103	小学校外国語活動及び中学校英語科の授業において効果的な授業が推進できるよう、指導力の向上を目指した研修会を実施していく。 国際理解教育の推進・充実が図れるような研修会を実施していく。	教育センター (旧 教育研究所)

13	情報教育	継続		A	児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、校務の効率化を図るため、情報機器操作能力の向上を目的とした教職員の研修会を実施した。 今年度も管理職対象の研修会や、地域の方々を対象にしたパソコン操作研修会を実施した。 リース期間終了の小学校6校の教育用コンピュータの更新及び小学校26校・中学校12校に電子黒板を各1台ずつ追加導入した。	やさしいパソコン操作研修会(ワープロ・表計算)パソコンプレゼンテーション研修会(基本・応用)パソコンホームページ研修会(作成・更新) 授業に役立つパソコン活用研修会(IC・T・情報モラル)、初任者研修、5年経験者研修、管理職のためのICT研修会 H23: 研修会参加者延べ339名 地域対象研修会延べ35名 教育用コンピュータ更新校10校(中) H24研修会参加者延べ546名 地域対象研修会延べ13名 教育用コンピュータ更新6校(小) 電子黒板追加導入(小26校、中12校)	H22 A 119,704 115,657 H23 A 140,343 136,343 H24 A 131,979 97,187 H25 121,708 H26 計 513,734 349,187	それぞれの研修会の内容の見直しを図り、充実させ、参加人数の増加を目指す。昨年度に引き続き、デジタル教科書の活用率を上げるための、電子黒板・デジタル教科書活用法の臨時研修会を実施する。 校内LANの施設に向けて、効果等の研究を進めていく。	教育センター (旧 教育研究所)
14	土曜子ども体験	継続	年22回	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。毎月第二・三土曜日(8月を除く)を中心に実施した。24年度は、22回実施	H22 年21回 H23 年22回 H24 年22回	H22 A 60 60 H23 A 60 78 H24 A 78 96 H25 96 H26 計 294 234	今後も、プログラムを見直し、よりニーズに合った内容を考えて実施していきたい。また、土曜日だけでなく日曜日の開催も行っていく。	博物館
15	子ども博物館教室	継続	年3回	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習に取り組んだ。天候もよく3回すべて実施することができた。	H22 年3回 H23 年2回 H24 年3回	H22 A 18 24 H23 A 12 12 H24 A 12 24 H25 24 H26 計 66 60	1日かけてじっくり取り組めるプログラムとし、今後も川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容で、毎年数種類更新して実施していく。	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	年3回	A	夏季休業日を活用して学校教育と連動した学習の場として、ミニ灯籠作り、探検!となりのまちの博物館、ミニ縄文土器を作ろうを行った。3回実施	H22 年3回 H23 年3回 H24 年3回	H22 A 12 — H23 A 12 — H24 A 12 — H25 — H26 計 36 0	今後も、夏季休業日を利用して博物館に来館し、興味を持って取り組める内容を実施していく。	博物館
17	昔の遊び	継続	年2回	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にわなげやコマ回しやビーズを使ったアクセサリ作り等の体験を行った。 2回実施	H22 年2回 H23 年2回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — H26 計 0 0	今後も、昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として、市民ボランティアの協力を得て実施していく。	博物館
18	人権教育	継続		A	人権作文集「あけぼの」を毎年3、150部発行。 「いのち・こころを大切にする絵画展」を3日間開催	H22 絵画展入場者数192人 H23 絵画展入場者数262人 H24 絵画展入場者数176人	H22 A 455 358 H23 A 266 265 H24 A 284 351 H25 285 H26 計 1,310 974	市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、人権作文「あけぼの」を3、150部発行予定。 「いのち・こころを大切にする絵画展」を3日間開催予定。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)

19	人権啓発事業	継続	講演会参加者数 300人	A	講演会参加者数255名 啓発冊子等配布数1,490冊 啓発ビデオ貸出数18件 講演会実施回数1回 広報掲載回数4回 啓発用品の駅頭等配布数8,603個	講演会参加者数 H22:279名 H23:224名 啓発冊子等配布数 H22:1,416冊 H23:2,537冊 啓発ビデオ貸出数 H22:61件 H23:43件 講演会実施回数 H22:1回 H23:1回 広報掲載回数 H22:12回 H23:12回 啓発用品の配布数 H22:6,421個 H23:6,636個	H22 A 1,654 1,090 H23 A 1,586 1,123 H24 A 1,912 1,587 H25 1,340 H26 計 6,492 3,800	①講演会の開催 ②市内の公的施設及び駅等啓発において啓発用品配布 ③ビデオを購入し、学校・企業へ貸出 等により人権啓発を積極的に推進してまいります。	人権推進課
20	学校部活動補助事業	継続		E	予算縮減のため、平成21年度で事業が終了しました。		H22 E — — H23 E — — H24 E — — H25 — — H26 計 0 0		教育指導課
21	公立学校施設の整備	拡充	公立学校施設の耐震化率 100%	A	耐震補強工事実施 校舎・体育館 1校 校舎 5校 耐震化率 100%	耐震補強工事実施 校舎・体育館 H22:2校 H23:2校 H24:1校 校舎 H22:3校 H23:9校 H24:5校 体育館 H22:16校 H23:4校 全体 229棟 内訳 新耐震基準及び耐震化済み等 229棟 耐震補強工事未実施 0棟	H22 A 6,154,393 2,749,817 H23 A 3,093,982 1,826,665 H24 A 503,060 387,011 H25 H26 計 9,751,435 4,963,493	川越市小中学校大規模改造計画に基づいて、大規模改造工事を実施。	教育財務課
22	育児関連講座	継続	10講座	A	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催した。 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 7館、14講座 参加者延べ人数 1,392人 H23 7館、13講座 参加者延べ人数 1,265人 H24 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 A 365 500 H23 A 414 594 H24 A 322 442 H25 299 H26 計 1,400 1,536	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催する。	中央公民館
23	幼保小連絡懇談会の実施	継続	小学校32校 幼稚園32園 保育園33園	A	「幼保小連携の在り方」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催した。		H22 A 84 78 H23 A 84 85 H24 A 91 42 H25 6 H26 計 265 205	・32幼稚園と33保育園、32小学校を6グループに分けて実施している幼保小連絡懇談会は、公開授業や公開保育を実施するグループが増えた。 ・『連携実践事例集』等をもとに充実した話し合いによって、教員、保育士の資質向上や幼保小の連携強化等成果を上げている。	教育指導課

24	川越市子ども読書活動推進計画第2次の策定・推進	拡充		A	家庭向け読書活動啓発リーフレット「自ら本に手を伸ばす子に」を小学校新入学児童の保護者に保護者会の折に配布した。年1回の司書教諭研修会、年4回の図書整理員研修会を実施し、資質の向上を図った。		H22 A — — H23 A — — H24 A 132 61 H25 132 H26 計 264 61	第2次川越市子ども読書活動推進計画に基づき、学校、家庭、地域が一体となって子どもが読書に親しむ諸条件の整備充実に努める。	教育指導課
25	学校図書館図書の整備	拡充	整備率 100%	B	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 小学校 78.0% 中学校 90.8%	図書標準達成率 H23 小学校74.8% 中学校85.7% (前年度より3ポイント程度上昇) H24 小学校 78.0%(+3.2) 中学校 90.8%(+5.1)	H22 B 31,606 30,453 H23 B 31,916 30,617 H24 B 29,920 30,727 H25 30,650 H26 計 124,092 91,797	適正な廃棄作業と計画的な蔵書購入を行い、蔵書数の増加を図るとともに、質と利用価値の向上に努める。	教育指導課
26	小・中学生の読書活動の推進	継続	達成率 100%	A	読書習慣を形成するため、小学生対象の読書マラソンの実施、中学生対象の読書手帳の配布を行った。	H23 ・読書マラソン実施期間中(6月～2月)の市内児童平均読書冊数は52.5冊、昨年比+2.9冊 ・学校図書館平均貸し出し冊数 小学校 21.8冊(昨年比 +0.6冊) 中学校 3.4冊(昨年比 +0.4冊) H24 ・読書マラソン実施期間中(6月～2月)の市内児童平均読書冊数は48.9冊、昨年比-3.6冊 ・学校図書館平均貸し出し冊数 小学校 23.7冊(昨年比 +2.6冊) 中学校 5.0冊(昨年比 +1.6冊)	H22 A 318 280 H23 A 318 318 H24 A 317 242 H25 318 H26 計 1,271 840	第2次川越市子ども読書活動推進計画に基づき小学生対象の読書マラソンの取組、中学生対象の読書手帳配布を継続する。	教育指導課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

2-(3) 家庭や地域の教育力の向上

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)			平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	教育相談・就学相談事業	継続		A	相談者のニーズに応じて関係諸機関と連携し、臨床心理士のスーパーバイズを得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。また、発達や就学に関する相談に応じた。 ・相談件数(延べ)3,224件 ・川越市就学支援委員会(委員25名)	H22 ・相談件数(延べ) 3,383件 ・川越市就学支援委員会(委員25名) H23 ・相談件数(延べ) 2,991件 ・川越市就学支援委員会(委員25名) H24 ・相談件数(延べ) 3,224件 ・川越市就学支援委員会(委員25名)	H22 A 3,418 3,208 H23 A 3,289 3,070 H24 A 2,980 2,676 H25 2,173 H26 計 11,860 8,954	いじめ・不登校、学習・発達、ことばの相談や就学に関する相談など、教育に関するあらゆる相談に応じていく。	教育センター (旧 教育研究所)		
2	不登校児童生徒保護者セミナー	継続		A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じた。 ・3回実施	H22 3回実施 H23 3回実施 H24 3回実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	年間3回実施し、それぞれ「子どもが登校をしぶったとき」「生活リズムづくり」「登校へのきっかけづくり」について考え、話し合う機会とする。	教育センター (旧 教育研究所)		

3	家庭教育学級	継続		A	市内小中学校54校のPTAに事業を委嘱し、それぞれのPTAが年5回以上の家庭教育学級を開講した。本事業により、家庭における教育力の充実に効果が見られた。	各PTA5回以上実施。 H22 273回 H23 271回(延べ回数) H24 273回(延べ回数)	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>2,160</td><td>2,160</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>2,160</td><td>2,160</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>2,160</td><td>2,160</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>2,160</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>8,640</td><td>6,480</td></tr> </table>	H22	A	2,160	2,160	H23	A	2,160	2,160	H24	A	2,160	2,160	H25		2,160		H26				計		8,640	6,480	多くの保護者が講座に出席できる環境づくりと、講座内容の充実を図りながら、市内小中学校54校でPTA家庭教育学級を実施する。親の役割や子どもへの理解、人権教育など、PTA・学校ならではの講座を実施していく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
H22	A	2,160	2,160																														
H23	A	2,160	2,160																														
H24	A	2,160	2,160																														
H25		2,160																															
H26																																	
計		8,640	6,480																														
4	家庭教育講座	拡充	25講座	A	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>1,834</td><td>1,430</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>1,699</td><td>1,395</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>1,822</td><td>1,401</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>1,669</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>7,024</td><td>4,226</td></tr> </table>	H22	A	1,834	1,430	H23	A	1,699	1,395	H24	A	1,822	1,401	H25		1,669		H26				計		7,024	4,226	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する。	中央公民館
H22	A	1,834	1,430																														
H23	A	1,699	1,395																														
H24	A	1,822	1,401																														
H25		1,669																															
H26																																	
計		7,024	4,226																														
5	総合型地域スポーツクラブ	拡充	3クラブ 設置・育成	A	3クラブの設置。芳野スポーツクラブでは、自主的な運営を行い、13事業を行い537名の参加者を得た。川越公園クラブについては、充実した施設設備を活用して、クラブ事業、スクール事業を展開した。山田地区では創設支援事業を実施し、平成25年3月に『川越山田スポーツクラブ』として設立した。	H22 2クラブ H23 2クラブ H24 3クラブ	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>B</td><td>250</td><td>250</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>250</td><td>250</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>750</td><td>500</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>500</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,750</td><td>1,000</td></tr> </table>	H22	B	250	250	H23	A	250	250	H24	A	750	500	H25		500		H26				計		1,750	1,000	福原地区で、クラブ設立を目指すか検討を行う。検討に当たっては、県体育協会と連携していく。既存3クラブについては事業内容の充実を図る。	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
H22	B	250	250																														
H23	A	250	250																														
H24	A	750	500																														
H25		500																															
H26																																	
計		1,750	1,000																														
6	スポーツ少年団	継続		A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図った。また、体カテスト会、体育祭、新春マラソンを開催し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	H22 体カテスト会1,146名 体育祭1,387名 新春マラソン1,060名 H23 体カテスト会1,161名 体育祭1,615名 新春マラソン1,163名 H24 体カテスト会1,271名 体育祭1,628名 新春マラソン1,252名	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>850</td><td>649</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>850</td><td>472</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>850</td><td>532</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>850</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>3,400</td><td>1,653</td></tr> </table>	H22	A	850	649	H23	A	850	472	H24	A	850	532	H25		850		H26				計		3,400	1,653	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
H22	A	850	649																														
H23	A	850	472																														
H24	A	850	532																														
H25		850																															
H26																																	
計		3,400	1,653																														
7	学校体育施設開放事業	継続		A	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施し、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放(6～9月)、牛子小・高階西小・福原小の学校プール開放(7月)を行った。	H22 学校体育施設開放参加者数369,728名。霞ヶ関北小プール開放参加者数4,279名。山田小・南古谷小プール開放参加者数112名。 H23 学校体育施設開放参加者数402,752名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数189名。 H24 学校体育施設開放参加者数407,529名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,200名。牛子小・高階西小・福原小プール開放参加者数168名。	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>13,174</td><td>12,036</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>11,550</td><td>11,092</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>11,480</td><td>10,405</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>11,263</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>47,467</td><td>33,533</td></tr> </table>	H22	A	13,174	12,036	H23	A	11,550	11,092	H24	A	11,480	10,405	H25		11,263		H26				計		47,467	33,533	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
H22	A	13,174	12,036																														
H23	A	11,550	11,092																														
H24	A	11,480	10,405																														
H25		11,263																															
H26																																	
計		47,467	33,533																														

8	人材バンク	継続		A	地域子どもサポート事業では、各地区子どもサポート委員会が、人材確保のため、登録を行った。	H22 子どもサポート委員の人数 569人(前年比103.1%) H23 子どもサポート委員の人数 572人(前年比100.5%) H24 子どもサポート委員の人数 607人(前年比106.1%)	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子どもサポート委員の増加と活用 のための支援に取り組んでいく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
9	学生ボランティアの活用	継続		A	各地区の子どもサポート事業のなかで、学生ボランティアを活用した学習支援事業が行われた。	学生ボランティアを活用した学習支援事業の全事業数 H22 17事業 H24 17事業 H23 21事業 事業の参加者合計人数 H22 約600人 H24 1,018人 H23 815人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	地域の大学・高校との連携を進めて、 学生ボランティアによる学習支援事業を進めていく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
10	エコチャレンジファミリー認定事業	継続	認定件数 1,540件 (H24までの 目標事業量)	A	・省エネナビコース:6件認定 ・簡易電力計コース:35件認定 ・省エネ家計簿コース:3件認定 ・省エネワークブックコース:55件認定 平成24年度までに、述べ1,263件の家族をエコチャレンジファミリーとして認定している。 震災の影響での電力不足による節電意識の高まりを受け、従来のコースを一時停止し、簡易電力計コースで利用しているワットチェッカーの貸出しに絞って事業を行った。	省エネナビコース(累計:129件認定) H22:9件認定 H23:0件認定 H24:6件認定 簡易電力計コース(累計:331件認定) H22:16件認定 H23:93件認定 H24:35件認定 省エネ家計簿コース(累計:91件認定) H22:5件認定 H23:0件認定 H24:3件認定 省エネワークブックコース(累計712件認定) H22:122件認定 H23:112件認定 H24:55件認定 ゴールド・エコチャレンジファミリー(累計:34件認定) H22:4件認定 H23:0件認定 H24:2件認定	H22 A 47 17 H23 A 75 60 H24 A 44 43 H25 27 H26 — — 計 193 120	省エネナビコース、省エネ家計簿 コースを再開し、省エネの取組を推進する。	環境政策課
11	市民環境調査	継続	開催回数 (年度):1回	A	「湧水めぐり」を実施した。 (1回実施。参加者数8人)	H22:1回実施 H23:1回実施 H24:1回実施	H22 A 74 61 H23 A 16 12 H24 A 65 41 H25 26 H26 — — 計 181 114	市民参加型の環境調査を1回実施 予定。	環境政策課

12	星空観察の集い	継続		A	夏期を8月に実施し(参加者数42人)、冬期を1月に実施した(参加者数21人)。	H22:2回実施 H23:2回実施 H24:2回実施	H22 A 58 52 H23 A 58 24 H24 A 58 39 H25 47 H26 計 221 115	2回実施予定。	環境政策課
13	環境展inさんぱく	継続		A	環境関連企業、環境に配慮した取組を実施する企業、川越市環境部等が出展し、環境に配慮した商品やサービス、取組等を来場者にPRした。	参加者数 平成18年度623名 平成19年度284名 平成20年度786名 平成21年度765名 平成22年度台風により中止 平成23年度1,000名 平成24年度600名	H22 D — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	環境関連企業、環境に配慮した取組を実施する企業、川越市環境部等が出展し、環境に配慮した商品やサービス・取組等を来場者にPRする。	環境政策課
14	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続		A	名称を「夏休み親子リサイクル講座」に改め、内容をリニューアルしたものを実施。つばさ館でのリサイクル講座「割り箸鉄砲づくり講座」と「変わり絵ボックスづくり講座」を実施し2日で計24名参加。	【H21年度】2日で計43名参加。 【H22年度】2日で計26名参加。 【H23年度】東日本大震災により施設が一部破損したことや、節電対応のため、中止。	H22 A 6 6 H23 D 2 — H24 A 0 0 H25 0 H26 計 8 6	年度1回以上開催予定。	資源循環推進課
15	市民の森	継続		A	(1)維持管理 清掃業務委託(月3回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第1号ほか1箇所整備工事	H22:8箇所 H23:8箇所 H24:8箇所	H22 A 7,836 6,834 H23 A 7,127 6,314 H24 A 6,111 6,070 H25 5,687 H26 計 26,761 19,218	散歩や休憩で利用されるほか、一部の森では、子供たちの自然学習の場としても利用されている。良好な自然環境を保つために、定期的な維持管理と、不都合箇所の改修を行っていく。新規指定については、維持管理に経費が嵩むこともあり、慎重に候補地を選定する必要がある。	環境政策課
16	子どもエコクラブ	継続		A	8月に研修会(内容:川での伝統漁法の体験学習等)、2月に発表会(内容:1年間のクラブ活動を報告)を実施した。	H22:2回実施 登録クラブ数 5クラブ・58会員 H23:2回実施 登録クラブ数:4クラブ・54会員 H22:2回実施 登録クラブ数 5クラブ・58会員 H24:2回実施 登録クラブ数:4クラブ・192会員	H22 A 111 49 H23 A 93 95 H24 A 114 67 H25 109 H26 計 427 211	2回実施予定。	環境政策課
17	エコチャレンジスクール	継続		A	川越市内小・中・高・特別支援学校の全56校がエコチャレンジスクール認定校となり、各学校において工夫した取組を行った。実践報告書を作成し、市内各学校に配布した。	エコチャレンジスクール認定校 H22 認定申請校19校、継続更新校37校 H23 認定申請校19校、継続更新校37校 H24 認定申請校18校、継続更新校38校	H22 A 165 35 H23 A 120 34 H24 A 53 34 H25 35 H26 計 373 103	川越市内小・中・高・特別支援学校の全56校がエコチャレンジスクール認定事業に取り組む。活動内容をまとめた実践報告書を作成し、市内各学校に配布する。	教育センター (旧 教育研究所)

(3)基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

3-(1) 親の学びの機会の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	両親学級 (1-(1)-13の再掲)	拡充		A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパパママスクール H22:5回 102組 200人 (夫再掲98人) H23:6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24:6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22	A	再掲	再掲	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。	健康づくり支援課
2	育児関連講座 (2-(2)-22の再掲)	継続	10講座	A	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催した。 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 7館、14講座 参加者延べ人数 1,392人 H23 7館、13講座 参加者延べ人数 1,265人 H24 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22	A	再掲	再掲	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催する。	中央公民館
3	家庭教育講座 (2-(3)-4の再掲)	拡充	25講座	A	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延べ人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延べ人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延べ人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延べ人数 3,881人	H22	A	再掲	再掲	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する。	中央公民館
4	市民との協働による父親育児講座	新規	参加者数 年30組	A	市民活動団体との協働委託事業により、子育て中の父親を対象に子育ての楽しさを実感し、育児への関心を高めるとともに、父親の育児参加を促進するため、具体的に活用できる講座を実施 ・防災学 アウトドア流の命を守るための危機管理方法や、古武術を活用した救出法など、自分と家族を守る防災術を学ぶ。 ・誕生学 赤ちゃんがどのように母親のお腹の中で過ごし、誕生日にどんな力を発揮して生まれてきたかなど、命の大切さを学ぶ。	H22:2日間で延べ26組、73人の参加 H23:2日間で延べ22組、38人の参加 H24:2日間で延べ32組、73人の参加	H22	A	66	66	父親向けの講座としては、公民館でも実施されるようになってきており、子育てサロンについても父親向けに開催されていることから、こども政策課としては講座を実施せず、埼玉県が作成した「イクメンの素もと」(育児初心者への父親向けに育児のヒント集)の閲覧しやすい環境作りなどで、父親の育児サポートをしていく。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

3-(2) 親の社会参画の機会の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成25年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	地域子育て支援拠点事業 (5-(1)-5に掲載)	拡充	25箇所	B	子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【14箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所) 計14箇所を実施。	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	H26年度竣工予定の地域振興ふれあい拠点施設での子育て支援拠点の新規開設を視野に入れて、事業の拡充を図るとともに、既存の子育て支援施設の支援内容の向上を図る。	こども育成課(H24年度まで:保育課)			
2	家庭教育学級 (2-(3)-3の再掲)	継続		A	市内小中学校54校のPTAに事業を委嘱し、それぞれのPTAが年5回以上の家庭教育学級を開講した。本事業により、家庭における教育力の充実に効果が見られた。	各PTA5回以上実施 H22 273回 H23 271回(延べ回数) H24 273回(延べ回数)	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	多くの保護者が講座に出席できる環境づくりと、講座内容の充実化を図りながら、市内小中学校54校でPTA家庭教育学級を実施する。親の役割や子どもへの理解、人権教育など学校・PTAならではの学びを提供していく。	地域教育支援課(旧 生涯学習課)			
3	イベント等への参加促進	拡充		B	各課へイベント等の際の託児についての配慮を文書で通知した。 子育て支援課において実施した会議等の通知文には、託児の案内を明記し、希望者には託児を実施して、子育て中の親の参加を促進した。	子育て支援課の会議 H22: 託児7回実施 H23: 託児4回実施 H24: 託児3回実施	H22 B — — H23 B — — H24 B — — H25 — — H26 計 0 0	各課の会議、イベント等の際に託児を設けることにより、子育て中の親の社会参画の機会を提供することができたが、さらに周知方法やボランティアの活用方法等を工夫する必要がある。	こども政策課(H24年度まで:子育て支援課)			